

## 放課後

お互い、子どものことでは悩みが尽きないわね。うちの子も、学校に行くのをいやがっていた時期があったから、手紙に書いてあったこと、よくわかります。

うちの子は今、地域のクラブに入って、木工や竹細工なんかをやっている。「やってみようかな」「じゃあ入ってみれば？」という程度だったけど、入れてよかったと思っている。本人も楽しそうだし、親の私も勉強になりました。というのは、夏休みにクラブでキャンプがあつて、私も行ってきた。その時、指導している方の話を聞いてね。「このクラブでは、時間がかかってもいいから、納得のいくものをつくりましょう、ということをやっています。作業のスピードは人によって違うのだから、この仕事をいつまでにやりなさいといって、早い子をほめたり、遅い子をせかしたりするのではなく、一人ひとりがやりたいようにやってもらっています。」というの。活動の様子もいろいろ聞いて、子どもたちが伸び伸びやっているのがよくわかりました。

そういう作業の仕方は、今の学校ではなかなかできないから、大切なことよね。家でも、親の私が「あれやったの」「これやったの」「早くしなさい」だもの、子どもからすれば、けっこうつらかったのだと思う。自分のカラに閉じこもりたくもなるわよね。

おかげであの子も、ずいぶん明るくなりました。キャンプの後、改めて指導の方にお礼に行ったら、「自分もこの活動を通して、子どもたちに勉強させてもらっています。」とおっしゃっていました。その人は普段は、普通のサラリーマンなんですって。先生や親以外の大人と接するというのも、子どもにはいい経験なのかもね。

そのクラブには、区外から来ている子もいるそうです。だから一度、のぞいてみてはどう？

（瀬谷区 J・Uさん 三十九歳）

## ●学童保育●

放課後における留守家庭児童（小学校一～三年生）を健全に育成するため、学校・家庭・地域の協力のもとに、地域ぐるみの活動として実施しています。事業の実施にあたっては、地域の運営委員会に委託しています。現在百四十六か所あります。

## ●はまっ子ふれあいスクール●

はまっ子ふれあいスクールは、

子どもたちが通いながれている小学校で、放課後、年齢の異なる子どもたちが一緒になって遊ぶことにより、生き生きとした「はまっ子」を育てることを目的としています。

平成九年度は、新たに開設した三十六校を加えて、市内百六十一小学校で実施しています。

活動時間は、月曜日から土曜日までの放課後、午後六時までで、日曜日や祝日、長期休業日など、放課後のない日には実施しません。ただし、夏休み中に二週間実施し

ています。

活動の中心は、多目的スペースや校庭、体育館など、屋内、屋外での様々な遊びです。

子どもたちが安全に、また仲良く遊べるように、三人のスタッフがお世話をしますが、あくまでも子どもたちの自主的な遊びを大切にします。

この事業の運営は各小学校内に設置された「はまっ子ふれあいスクール運営委員会」に委託して行います。将来的には、市内全小学校に設置する予定です。

# 習いごとやクラブ

とおる君へ。

このあいだ、あなたがいない時に、こっそり絵画教室を見に行きました。アトリエでは、あなたと同じような年齢の子が、みんな思い思いに絵を描いたり、何もしないで本を眺めていたりで、教室というよりも自習時間のようでした。

こんなことで、絵が上達するのか心配で、先生にいろいろとお聞きしたら、先生は「学校で、美術や工作に点数があるのはおかしい。」との考えでした。そんなことで、何を習うのかと思いましたが、子どもたちはみんな自由で、それでもいつの間にか一生懸命に絵を描いています。学校を休んでも、ここには来る子もいると聞きました。ここでは、ゆったりと時間が流れている感じがしました。

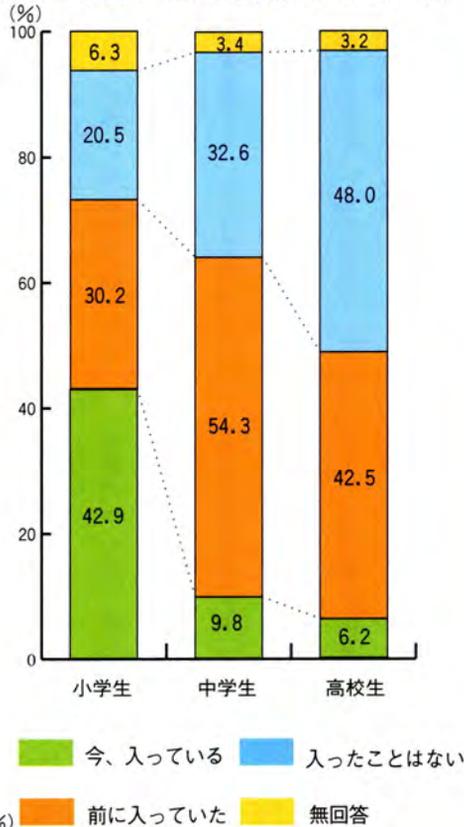
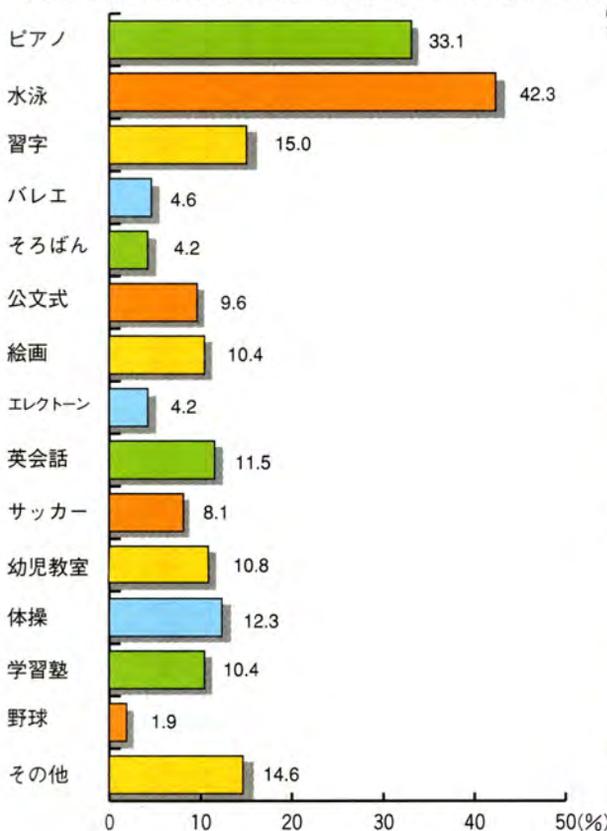
いつも時間に追われている生活を送っていますが、こんなアトリエがあってもいいのかもしれないね。

(港南区 M・Mさん 四十二歳)



## 子どもが通っている習いごとの種類(3~10歳)・スポーツの教室やクラブへの加入状況

「子どもの習いごとに関する調査」(平成7年度・ライフデザイン研究所) 「横浜市子ども基本調査」(平成7年度・横浜市)



・スポーツには、小学生の四割強が参加。  
・子どもの習いごとでは、水泳(四二・三%)、ピアノ(三三・一%)が抜きんでいる。

## 地域と子ども

元気？

中学を卒業したら、同じ町内に住んでも、意外に会わないもんだね。この間、久々に信ちゃんちの、おばさん見かけたよ。変わらないね。

制服を着た男の子たちが、駅でたばこを吸ってたら、おばさん「制服着てたばこ吸うのは十年早い。やめなさい！」って、その子たちに声をかけてるの。

その中に、ほら、子ども会で一緒だった百合ちゃんちの下の弟がいたらしく、「竜ちゃん、今からたばこ吸ってたら、背が伸びないよ。身長が一八〇センチ超えたらたばこ吸いなさい。」なんて。言いたい放題。私たちが子ども会にいた頃とちっとも変わらない。

竜ちゃん「おばさんには勝てないよな。」とか言いながら、友達にもたばこ消させてるの。まわりの友達、知らないおばさんにそんなこと言われた経験ないらしくて、凍っちゃってんの。

おばさんが行っちゃった後、「おつかねー、どこのおばさんだよ、竜。」「子ども会のおばさんだよ。おれらガキの頃からお世話されちゃってるからな。そんなでもないちばんおつかないおばさん。でも、あのおばさん、おれには、ずけずけ怒るけど、親に絶対チクらないんだ。怒るときはいつも本気でさ。かなわないよ。」だって。

私が近くにいるのを竜ちゃんも気がついていたらしくて、思わず二人で顔見合わせちゃった。変わらないわよ。信ちゃんちのおばさん。

私、何かうれしくなっちゃったもん。あのおばさん、うるさいけど、ちよつと好きなのよね。親に言われると頭にくることも、おばさんに言われると納得しちやったり、なんてことなかった？

近所にああいうおばさんがいるのって、貴重だよな。悪いことできないもん。

ところで、来週の土曜日、子ども会のドッジボール大会あるらしいから、顔出してみない？ おばさん、今は、子ども会役員じゃなくて青少年指導員やってるらしいけど。会えるかもよ。行こうよ。

(南区 Y・Tさん 二十一歳)

前略 ご令息小学校入学おめでとー！

入学の準備はできていると思うけど、心ばかりのお祝いを送りました。受け取ってください。ところで、あなたは何歳で保育園に入れた？ 私の二歳の娘、この春入れたかったけれど、ほかの人は早いと言う。保育園は、ちゃんと先生がいろいろ教えてくれるし、友達も、いっぱいできるから、子どもにとって、いいと思う。中国では、みんな保育園に入れるよ。みんな、幼稚園に入る年になれば入れればいいと言うけど、幼稚園はすごく高いね。家賃払っているのと同じだものね。

日本は親戚とのつきあいもほとんどないから寂しいね。中国だと、晩ごはん食べて、おばあちゃんのうちに行く。お散歩みたいなもので、ちよつと寄って遊んで話してくる。そういう習慣だから。家の中にいると、子どもと私と二人だけ、良くないね。この間、外国人ママの会というのに行ったらけど、友達つくるのは難しいね。

あなたは、日本で子どものことを相談できる少ない友達。これからも、いろいろと教えてください。

ご家族様のご多幸をお祈りしています。

(保土ヶ谷区 R・Kさん 三十歳)

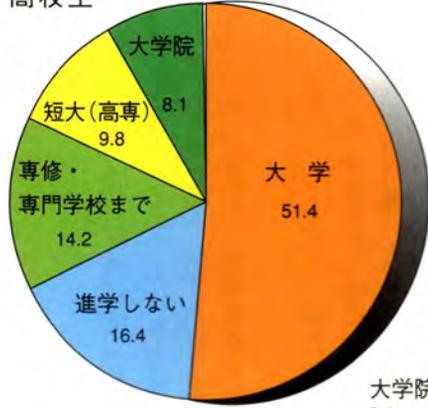


# 進学と将来の職業

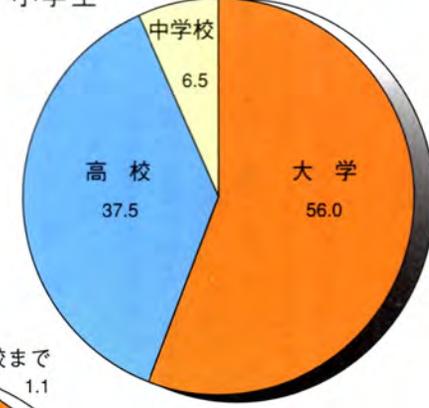
## 進学希望

〔横浜市青少年基本調査〕（平成6年度・横浜市）

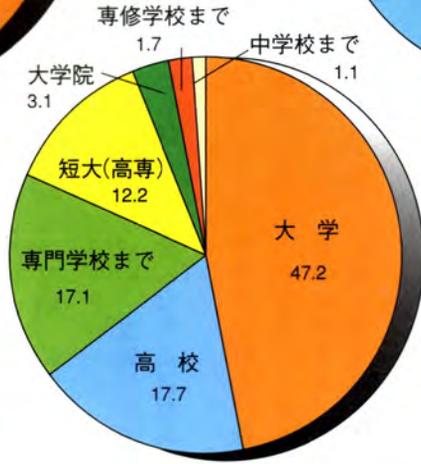
高校生



小学生



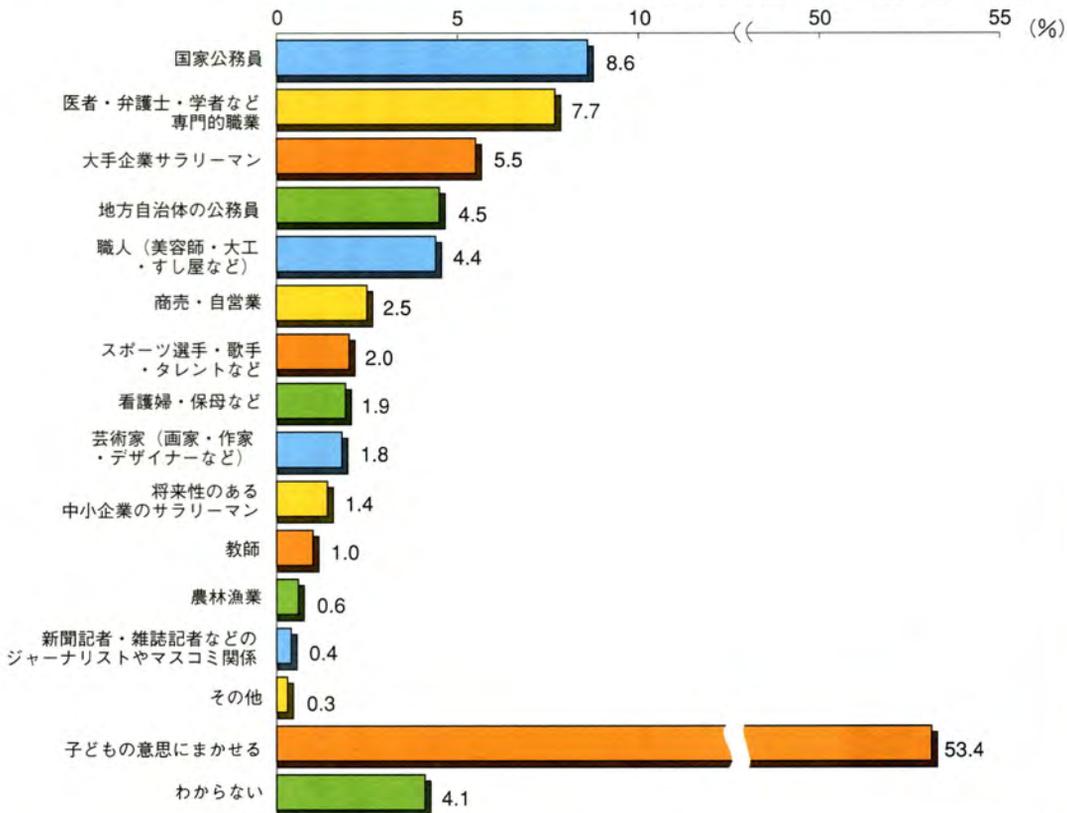
中学生



(単位：%)

## 将来子どもについてほしい職業【保護者】（複数回答）

〔横浜市民意識調査〕（平成8年度・横浜市）



・子どもについてほしい職業「国家公務員」、「医者・弁護士・学者など専門的職業」。

子育て・教育

おやじ、おふくろへ  
ガチのところで働くことにした。小学生デビューでハマ一番のワルやってきたオレだけど、一人前になることに決めた。

息子へ

おまえが本当に落ち着いたのかどうかわからないが、少しは変わったのだろう。

今にして思うと、中学生のころのおまえは悪さはそれこそ一人前にしたが中身は本当にガキだった。

オレのところとは時代が違うが、一人前になるといっなのは楽なことではない。これからはおまえがしたことはおまえ一人の責任だ。

高いところに登る仕事だから、けがだけはしないように気をつけろ。

直樹へ

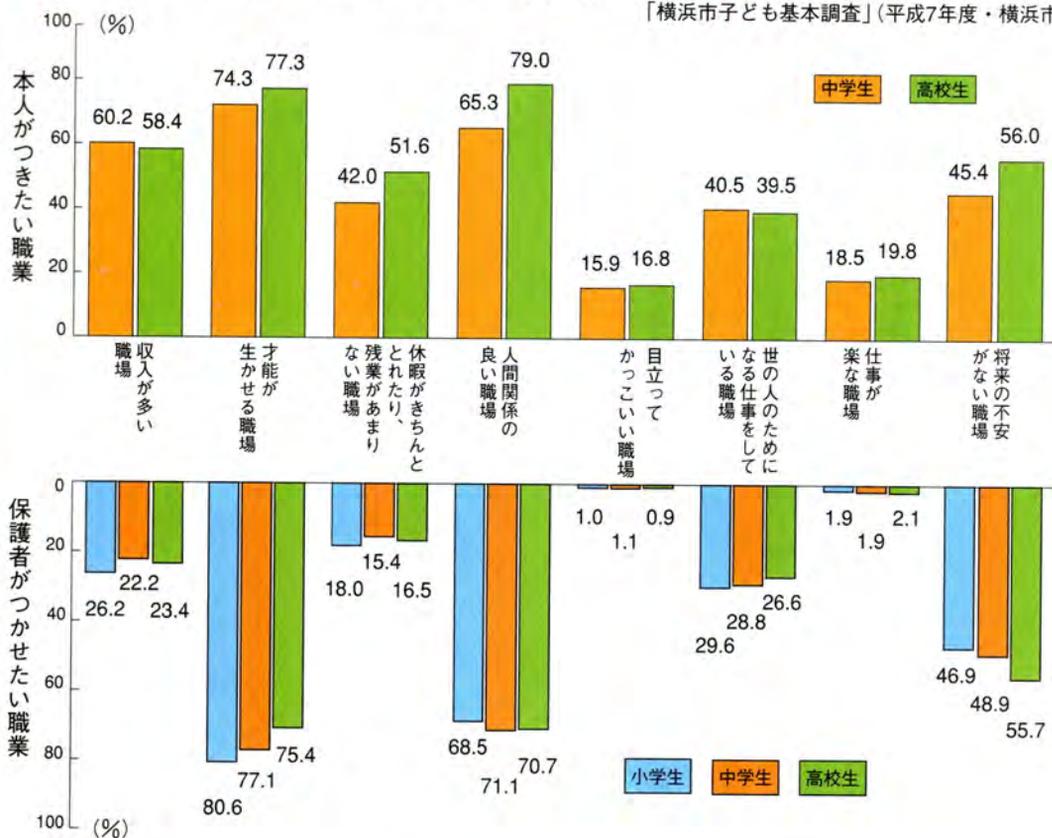
あなたのことでは、ほんとに大変だったけど、でも他の人には真似のできない経験ができたのかも知れません。狭い家だったけど、ガチやトミーなんかがしょっちゅう来てて、面倒みてたものね。集会にも行ったしね。

これからは、あなたも一人の社会人です。身体に気をつけて、頑張ってください。

(金沢区 Yさん家族)

## || つきたい職業・つかせたい職業(複数回答) ||

〔横浜市子ども基本調査〕(平成7年度・横浜市)



・子ども自身がつきたい職業は「才能が生かせる職場」「人間関係の良い職場」三位「収入が多い職場」。一方、保護者が子どもにつかせたい職業は「才能が生かせる職場」「人間関係の良い職場」三位「将来不安のない職場」の順が多い。

インタビュー



横浜市  
中央児童相談所

保土ヶ谷区

■今のお母さん方はわりと、「子どもとは、こういうふうには育つもんだ」「こうしなきゃいけない」というのが先に立っちゃっているみたいですね。で、それを補強するために育児書を見る。育児書を見ても、子育てというのはそうピシヤリといくわけではな  
いですから、ちよつと違う。はて何だろう。で、「はて何だろう」を、スムーズに、おばあちゃんか誰かいれば相談できるものも、相談できないので、悩んじゃう。それでまた育児書を買込む、というような悪循環を繰り返してますます不安になってしまふ、  
というの結構多いと思っんですね。

■公園デビューに関しても多いです。公園デビューっていうのは、小っちゃな幼児を公園に連れて行って、ご近所の仲間に入れてもらう。それは、子どもも認知されるし、親も認知される、両方の意味があるわけですね。ところが、連れていったんだけど、すでにいる人たちからシラッと冷たい目で見られたりして、それに失敗したと思ってしまう。そうになると、もう私たち親子はこの中に  
入れないというふうな感じで、母親と子どもだけの生活の中でいろいろ考えちゃうわけですね。育児ノイローゼみたいな状態に

なってしまう。

それは一つには、非常に核家族化となってますから、昔ならおばあちゃんがいるね、「そんなの大丈夫よ」とひとこと言ってくれば済むような話です。育児書をいっぱい読みあさって、こうなら  
ないのはどうしてなの、というふうな感じで、不安に思ったことを打ち明ける仲間がない。しかも自分の夫は仕事にかまけて、毎日  
遅い。きちつと、子どものことやらその奥さんのことを支えてくれれば、もうちよつと違うんだけれども、そういう支えもないとなると、もう一人ですーつとどんどん沈み込んでいってしまう。そうい  
う時にやはりここへ電話が入ってきます。電話の相談内容というのは、子育て不安が背景にあつて、どうしていいかわからないとい  
たものが多いです。

われわれが聞けばどうっていうことではないんですけれども、本人にしてみたら本当に真剣になつて悩みますね。子どもが言うことを  
きかないと、すぐいらいらして叩いてしまふ自分は悪い親だとか、電話相談から入ってくるそういうふうな、事例というか、相談とい  
うのは、ものすごくあるんです。誰かに聞いてもらおうということ  
安心できるのでしょうか。

■最近はお父さん自身が子育ての相談に来るのがぼつぼつ多くな  
つてきているような気がします。離婚をして、自分が引き取ることになつたんだけれども、母親に会わせるのはどうしたもんだらうか。  
会わせることはいいんだらうか、悪いんだらうか。あるいは、会わ  
せるとしてもどういうふうな会わせ方をしたらいいのかと。一人親  
で育てるには、どういう注意を父親としてしたらいいのかと。一人親  
と。あるいは、離婚をしたということをいつ子どもに伝えていい  
量と量は少ないんですけども、最近増える傾向にあると思いま  
す。